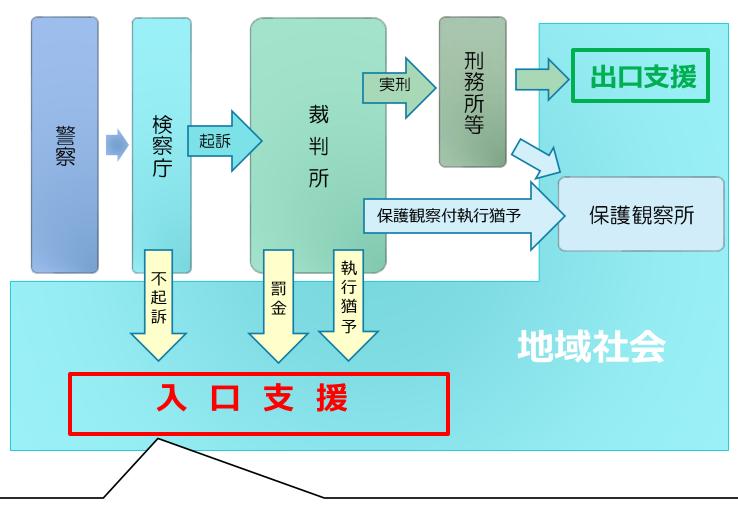
入口支援の概要について



令和7年度 地方公共団体による再犯防止の取組を促進するための協議会(ブロック協議会)

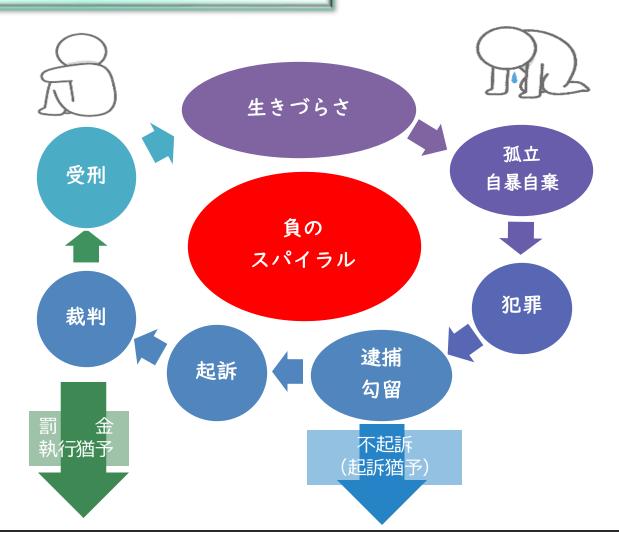
最高検察庁刑事政策推進室

入口支援とは?



刑事司法の入口段階、すなわち起訴猶予、刑の執行猶予等により矯正施設に入ることなく 刑事司法手続を離れる者について、高齢又は障害等により福祉的支援を必要とする場合に、 検察庁が、関係機関等と連携し、身柄釈放時に福祉サービス等につなぐ取組

入口支援の必要性



犯罪を犯した人の中には、刑務所等に入らずに社会に戻る人も多くいます その人たちも様々な要因による「生きづらさ」ゆえの再犯リスクを抱えています

入口支援の流れ(検察庁)

逮捕



○担当検察官:事件の記録、本人の状況等から支援の要否を判断

勾留

○担当検察官から刑事政策担当職員、社会福祉アドバイザーに相談

本人、家族等と面談したり、生活保護受給歴、障害・介護認定の有無、入通院歴等を含めた調査を実施。 関係機関と情報共有し、連絡を取り合いながら支援策を検討。

○関係機関に必要な支援を依頼

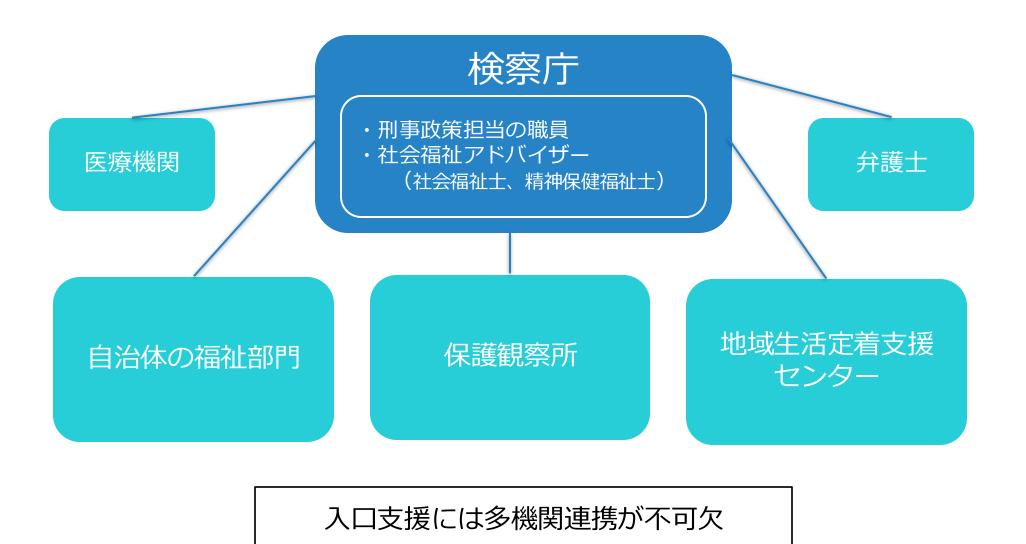


○関係機関による支援の実施(生活保護受給、施設入所等)

釈放

検察庁職員が関係機関に同行、各種手続のサポート、情報共有等

入口支援における多機関連携



犯罪に戻らない・戻さない ~立ち直りをみんなで支える明るい社会へ~